

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成18年2月2日(2006.2.2)

【公開番号】特開2004-187902(P2004-187902A)
 【公開日】平成16年7月8日(2004.7.8)
 【年通号数】公開・登録公報2004-026
 【出願番号】特願2002-358981(P2002-358981)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 0 B

A 6 3 F 7/02 3 2 6 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月9日(2005.12.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 遊技盤を嵌め込み可能な基枠と、
 前記遊技盤に設けられ、手指を挿入可能な隙間と、
 前記遊技盤を前記基枠に締め付ける締付手段と、
 を具備したことを特徴とする遊技機。

【請求項2】 前記取っ手を用いて前記締付手段による遊技盤の締め付けを解除する解除手段をさらに備えたことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】 遊技盤をその前後の一方から受け入れて嵌め込み可能な基枠と、
 前記遊技盤の周縁部に設けられ、前記遊技盤から突き出る突出位置と前記遊技盤に向けて畳み込まれた畳込位置との間で変位し、前記突出位置にあるとき前記遊技盤の取っ手となる一方、前記遊技盤が前記基枠に嵌め込まれた状態で前記畳込位置に変位することにより前記遊技盤を前記基枠に対して締め付ける締付具とを具備したことを特徴とする遊技機

【請求項4】 請求項3に記載の遊技機において、

前記締付具は、
 前記遊技盤に基端が回動自在に支持され、この基端から回動軸線を挟んで両方向に延びる本体と、

前記本体の一端に形成されて前記取っ手となる部位と、

前記本体の他端に形成され、前記本体の回動に伴い前記畳込位置に変位することで前記遊技盤の締め付けをなす締付部位とを含み、

前記基枠は、

前記締付具が前記畳込位置に向けて変位されるときに前記締付部位を受け入れる受入溝と、

前記受入溝内に形成され、前記締付具が前記畳込位置まで変位したとき前記締付部位に当接することで前記締付具に前記遊技盤の締め付けのための反力を付与する当接部とを有することを特徴とする遊技機。

【請求項5】 請求項4に記載の遊技機において、

前記当接部は、前記締付部位との当接により前記遊技盤の前記基枠への嵌め込み方向およびこれに直交する方向の2方向へ反力を付与することを特徴とする遊技機。

【請求項 6】 請求項 3 から 5 のいずれかに記載の遊技機において、
前記締付具が前記遊技盤の上縁部に設けられていることを特徴とする遊技機。

【請求項 7】 請求項 3 から 5 のいずれかに記載の遊技機において、
前記締付具が前記遊技盤の隅角部に設けられていることを特徴とする遊技機。

【請求項 8】 請求項 3 から 7 のいずれかに記載の遊技機において、
前記遊技盤は、その中央に形成された遊技領域と、この遊技領域外に配置された装飾部
とを含み、
前記締付具は、前記装飾部に設けられていることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

より好ましくは、上述した締付具は、遊技盤に基端が回転自在に支持され、この基端から回転軸線を挟んで両方向に延びる本体と、この本体の一端に形成されて取手となる部位と、本体の他端に形成され、この本体の回転に伴い畳込位置に変位することで遊技盤の締め付けをなす締付部位とを含む。また、これに合わせて基枠は、締付具が畳込位置に向けて変位されるとき、その締付部位を受け入れる受入溝と、この受入溝内に形成され、締付具が畳込位置まで変位したとき締付部位に当接することで締付具に遊技盤の締め付けのための反力を付与する当接部とを有する（解決手段 4）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

上述の態様では締付具の本体が回転可能であるため、突出位置と畳込位置との間の変位がスムーズに行われるし、その回転を利用して遊技盤の締め付けとその解除を行うことができるため、きわめて機能的・合理的な構造となる。また本体には、回転中心を挟んでその両端に取手となる部位と締付部位とがそれぞれ形成されているため、一端側と他端側とのレバー比を適切に設定することで遊技盤の締め付け力を所望に設定することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

また遊技盤は、その中央に形成された遊技領域と、この遊技領域外に配置された装飾部とを含んでおり、この装飾部に締付具が設けられている態様であってもよい（解決手段 8）。例えば、パネル飾りやコーナ飾りと称される装飾部が遊技盤に付される態様では、これら装飾部に予め締付具を設けておくことで締付具の取り付けを容易にすることができる。またこの場合、締付具を装飾部と一体にして遊技盤に取り付けることができるため、別途、締付具と基枠（受入溝）との位置合わせを考慮する必要がない。